

事業計画

事業名	料理教室を通じた父親の意識改革事業
団体名	MAISON IZARRA Oyatsu labo*T naturel メゾンイザラおやつラボ*テ ナチュレル
事業担当課	男女共同参画課

事業概要	
父親が主体的に家事・育児へ参加するきっかけづくりと、男女は対等なパートナーであることの理解促進の為に、父親と子どもが共同で料理をつくるイベントと、ワークショップを実施します。	
松戸市の課題	① 松戸市では、職場、家庭、学校、地域などあらゆる分野で、女性も男性も個性と能力を発揮し、対等なパートナーとして社会に参画し、自立的な生活を営むことを「男女共同参画」として捉えて施策を進めています。しかし、周囲の家族へのヒアリングや、資料「男女共同参画社会に関する市民意識調査」によると、父親が子どもと一緒に過ごす時間は、その家族が希望する理想の状態とは程遠く、男性の半数以上が1日1時間未満で、少ないというのが現状です。共働き世帯が増えている現状の中、男女が対等なパートナーとして互いに認識し、日々の生活の中で家事・育児を主体的に分担していくことが、今後ますます必要であると考えます。 ② コロナ禍においてテレワークが進み、父親が家にいる時間が増えたが、家事育児への母親への負担は変わらないばかりか、むしろ増えているという声も多く聞かれます。それは、男性は家においても家事分担を行わないいうえ、昼食の用意などの家事が増えるからです。よって、父親も家族の一員としての必要な役割に気づいてもらうことが重要と考えます。
事業の目的	松戸市男女共同参画プランでも定められている ① 「男性が家事・育児に関わることへの抵抗感を減らす」 ② 「さまざまな分野で女性と男性一人ひとりの能力ををいかす」ために、弊団体の強みである「料理講習」を活用して下記の目的を達成します。 ・父親と子どもと一緒に料理をする機会の提供を行うことで、男性が家事・育児に関わるきっかけづくりを行います。 ・料理教室の後にワークショップの時間をとり、父親同士の交流を深めると共に、男女共同参画への男性の理解の促進を図ります。
事業内容	1 事業内容 ① 父親と子ども向けの料理教室を実施します。（年4回） ② 3時間（2.5時間程度の調理イベント+ワークショップ 30分）のプログラムを組み立てます。 ③ レシピの作成や試作、材料の選定・調達を行います。 ④ 広報用のチラシ・ポスターを作成します。

- ⑤ イベント当日は、普段はパティシエの仕事を行なっている専門スタッフが調理レクチャーを行い、団体のスタッフがサポート役に回ります。
- ⑥ イベント終了後、振り返りを行い、次に向けた改善点を洗い出します。

2 スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	父と子のお菓子づくり体験教室 春のケーキ（卵不使用）	市民会館 料理教室、 父親と子ども ワークショップ：外部講師
6月	父と子のお菓子づくり体験教室 初夏のお菓子	市民会館 料理教室、 父親と子ども ワークショップ：外部講師
10月	父と子のお菓子づくり体験教室 ハロウィンモンブラン （卵不使用）	市民活動サポートセンター 調理室、父親と子ども ワークショップ：外部講師
12月	父と子のお菓子づくり体験教室 クリスマスケーキ	市民活動サポートセンター 調理室、父親と子ども ワークショップ：外部講師

*感染症の影響で施設の利用制限が続いた場合、
ソーシャルディスタンスが確保可能な市民会館での開催をします。

【事業内容の目的ポイント】

- ・特別な道具や材料を使わず、家庭でもおやつや軽食にも利用しやすいメニューを、父親と子どもでお互いに学びながら共同作業を楽しむことができ、男性の家事・育児への心象的なハードルを下げます。
 - ・食物アレルギーに配慮し、卵不使用メニューでの開催も行います。
 - ・調理終了後にはワークショップの時間を設け、父親と子どもの意見交換を通じて、男女共同参画への父親の理解を深めます。
- ワークショップについては、
- ・冒頭で親子で参加できるゲームの実施と家庭への参画の程度の聞き取り
 - ・質問タイムを通し、自身の現状を見つめ直す機会を創出
 - ・統計資料を活用し父親が家事育児に参画する必要性を説明し、参加者の意識を高めます。
 - ・参加者同士の交流を図り、パパサークルの活動を紹介し、継続的な活動に繋がります。

体験教室を実施した反応としまして、第1回、第2回ともに定員を超える申込があり、関心を持っていることが分かりました。

調理を通して父と子の関係が深まり、お菓子づくりは料理よりも完成時の達成感が大きく、家庭に持ち帰って家族で食べる事で、父親の家庭参加意欲に効果があります。アンケートを実施することで、家事・育児に関する考え方の変化等を調査し、より効果的な企画内容に改善していきます。

事業の目標	① 料理イベントを市内2つの場所で各2回、合計年4回開催し、各回10組20～25名を集客します。【参加人数 40組80名】 ② 父親の男女共同参画への理解と、家事・育児に関する意識を高めます。 ③ 父親と子どもに、料理の楽しさ、食の大切さを伝え、参加者は、家庭でもおやつや軽食が作れるようになります。 ④ 男性の家事・育児への心象的なハードルを下げます。 ⑤ 「SDGs」2030年までの約束、17の世界目標達成に繋がるとともに、ジェンダー平等の気付きを目指します。
協働の必要性 (団体)	・団体の自己資金が少ないため実施できなかった、父親向けの事業を行うことができ、市と協働する事により、信頼と安心感をもってもらえ、イベントに参加しやすくなります。 ・団体が有するノウハウを活かし、松戸市男女共同参画プランにおいて捉えている課題の解決を図ることができます。 ・市の広報力により、より必要な親子へ向けての広報が可能になります。結果として、効果的なプログラムを、より必要な親子に向けて提供することが可能になります。
協働の必要性 (市)	市は、男性（父親）の家事育児参加が少ないという実態の中、その参加のきっかけづくりとしての料理教室を開催することは、非常に効果的と考えますが、料理のノウハウがないため、市単独で料理教室を主宰することは困難だったことから今回の協働は、お互いに良い機会となります。 さらに、料理の専門的な知識と経験を有する団体と協働して事業を実施することで、市民の方からは一流の料理人に料理を教えてもらえるまたとない機会と魅力的に映り、市単独で事業を実施するより多くの方に興味を持っていただけたと考えております。また、親子向けワークショップを実践している団体の経験等を取り入れ、市と団体の経験が合わさることでより効果的なワークショップを実施することが可能になります。
事業実施の役割 分担	① 団体 ・調理イベント（2.5時間）＋ワークショップ（30分）のプログラムを組み立てます。 ・レシピの作成や試作、材料の選定・調達、広報用チラシ・ポスター作成 ・イベント当日は、団体スタッフが調理レクチャーとサポートを行います。 ② 男女共同参画課 ・ワークショップ講師の選定・依頼 ・広報まっど、市ホームページでの周知、市内施設へのチラシの配布
今後の展望	協働事業終了後も定期的に父親と子ども対象の体験教室を開催し、地域で男性の家事・育児に関する意識を高めていきます。 お菓子づくり体験教室を開催して学びと体験を提供し、参加費として収入に繋がります。

事業の予算計画

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	358,900 円	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel 団体拠出金	¥ 61,252	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 61,252	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 371,268	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 432,520	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	外部講師謝礼(3時間) 15,000円×4回
	消耗品費	¥ 203,000	食材 食材1,630円×25×4回 試作材料5,000円×2回分×4回
	消耗品費	¥ 47,340	資材 クッキングシート800円×10、ラップフィルム550円×16、絞り袋72枚入3,000円×2 ムースフィルム 100枚2,200円、デザートカップ蓋付75円×100、洗剤 100円×12、スポンジ3個入220円×8、アルコールスプレー(食品用)1,200円×2、ハンドソープ300円×8、キッチンペーパー150円×4、手袋100枚入2,000円×2、ペーパータオル200組 220円×4、保冷剤50個入800円×2
	消耗品費	¥ 30,800	ポスター用紙 50円×200枚 インク 5200円×4セット
	印刷製本費	¥ 40,000	チラシ印刷 5円×4,000枚 パンフレット印刷 50円×400部
	使用料及び賃借料	¥ 21,280	レシピ作成試作、作業確認・共有試作 380円×4時間×8回(レシピ作成試作4回、作業工程確認・注意点共有試作4回) 380円×6時間×4回(イベント4回)
	通信運搬費	¥ 10,100	ゆうメール 310円×20施設 郵便(定形外) 390円×10回
	対象経費の合計 (E)	¥ 412,520	
	食糧費	¥ 10,000	会員の昼食代 500円×5人×4回
	交通費	¥ 10,000	会員の交通費 500円×5人×4回
（その他） 対象外経費	その他経費の合計額 (F)	¥ 20,000	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 432,520	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×925円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座打合せ（8回）	74,000 円	5 人 × 2 h × 8 回 × 925 円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座試作会（8回）	59,200 円	2 人 × 4 h × 8 回 × 925 円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座準備（8回）	111,000 円	5 人 × 3 h × 8 回 × 925 円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座（4回）	55,500 円	5 人 × 3 h × 4 回 × 925 円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座振り返り・反省会（4回）	18,500 円	5 人 × 1 h × 4 回 × 925 円
	チラシ制作	18,500 円	1 人 × 5 h × 4 回 × 925 円
	報告書制作	22,200 円	2 人 × 3 h × 4 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
合 計 （A）		358,900 円	